

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-----------------|------------|------------|
| 事業所番号 | 2397100062 | | |
| 法人名 | 自然株式会社 | | |
| 事業所名 | グループホーム じねん | | |
| 所在地 | 愛知県田原市豊島町釜鑄67番地 | | |
| 自己評価作成日 | 28年2月11日 | 評価結果市町村受理日 | 平成28年4月13日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaigokensaku.jp/23/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigvosyoCd=2397100062-00&PrefCd=23&VersionCd=022 |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|---------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人『サークル・福寿草』 | | |
| 所在地 | 愛知県名古屋市中区三本松町13番19号 | | |
| 訪問調査日 | 平成28年2月29日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

理念「あるがままに、こだわらない、とらわれない、ほどほどに」ケアのポイントは「あるがままに」利用者を理解し、把握する。介護者のポイントは《こだわりを捨て、己にこだわらない、ほどほど(塩梅良い状態)なるサービスの提供我ができる》楽しく、笑いが常にある雰囲気醸し出すよう努力をしている。「人として最後まで生きる」お手伝いをしていく居住地を目指しています

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

今年度からの取り組みとして、併設しているデイサービスのスペースを活用した、「喫茶じねん」の取り組みがあげられる。月1回、地域の方に喫茶の案内を行いながら、気軽にホームに来てもらう取り組みが行われている。その際には、地元の大学生による落語ボランティアも行われており、参加者は徐々に増え、地域貢献につながるような取り組みが行われている。日常的な支援としては、ホームの理念に掲げられている、利用者がその人らしく、あるがままに、という思いでホームで生活することができるように、1ユニット9人の中で、ゆったりとした気分で毎日の生活を送ることができるような支援が行われている。毎日の食事作りの際には、利用者も割烹着を着用して参加するように取り組んでおり、包丁を使って食材を切ったり、食器におかず類を盛り付けたり、一人ひとりが出来ることに参加している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|----|--|---|----|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|--|---|---|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 玄関前に掲示してある。まだよくできていない。実践しようとしている。入所している利用者に対して少しずつではあるが事業所理念に基づいたサービス提供を理解し、行っている。業務に集中してしまうことが多かったが最近自分なりに少しずつだが実践している。いずれ自然にできるようになりたい。第一に利用者の事を考え、不穏にならないような声掛けやかかわりに気をつけている。理念そのものが介護、理念に共感し、少しでも近づけられるよう業務に取り組んでいる。利用者の事を考え、こだわらず、ほどほどを心がけている。笑顔でいることを心がけ安心して過ごせる場所提供をしたいと思っている。 | 法人名である「自然(じねん)」のように、利用者があるがまさに、その人らしく、ホームで生活することを目指した理念を掲げている。管理者からは、利用者への対応に関連して、理念の思いを職員間で共有してもらうような働きかけが行われている。また、理念をパンフレットにも記載しており、家族にも伝えている。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 散歩時に会った方々に挨拶をしている。市内の中学生が福祉交流に来る。他事業者との合同運動会に参加している。散歩時に道端に落ちているゴミ拾いを兼ねて行っている。地域の方が気軽に話にでも来て頂ける場所にしたい。1回/月喫茶屋じねんを開き、交流を図る場所づくりを行っている。地域の祭りに参加。1回/週喫茶店に行く。毎日交代で買い物に出かける。 | 今年度より、デイサービスのスペースを活かした喫茶(「喫茶じねん」)の取り組みを始め、地域の方の訪問も得られ、交流の機会につなげている。日常的な交流については、近隣の方への挨拶を通じた交流の機会につなげている。 | 喫茶の取り組みについては、年度の途中より、大学生の落語ボランティアの取り組みを加える等、参加者は徐々に得られるようになってきている。活動を継続することで、地域のニーズとつながっていくことを期待したい。 |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 1回/月喫茶屋じねんを開き話し合える場を設けている。時々音楽会を開催。毎日の買い物で利用者と外出し、関わり方、接し方をさりげなく周りに発信する機会になっている | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|---|---|--|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | どんな過ごし方をされているのかを実際にみて頂いている。利用者に受け付けや茶当番をお願いしている。時にはホームの方と一緒にコミュニケーションを取っている。報告、話し合いについてはできているが、サービス向上に生かせていない。家族の出席がない。 | 会議の際には、利用者一人ひとりの生活状況を数字を活用しながら報告しており、出席者にホームへの理解を深めてもらっている。また、年1回、ホームの詳しい活動報告を行った。市内の他のグループホームの方の出席も得られた交流の機会もつづられている。 | 会議の参加者が限定されている現状がある。家族への参加について、継続的な働きかけに期待したい。また、デイサービスを運営していることもあり、定期的な地域包括支援センター職員の出席が得られるような取り組みにも期待したい。 |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | ケアマネージャーに取り組みの報告をしている。喫茶屋じねんのチラシの配布を手伝ってくれる。 | 市内の介護事業所との連絡を通じた情報交換の機会以外にも、市の研修等の際には、ホームからも職員が参加する取り組みが行われている。また、ホームの喫茶の取り組みを通じた交流の機会も得られており、情報交換につなげている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | していない。施錠等はなくスタッフの連携で安全に努めている。1階や2階への移動は自由。玄関の施錠無。必要時に玄関の施錠することもある。普段はなし。身体拘束をしないケアに取り組んでいる。施錠は夜中だけ。 | ホームでは、理念にも掲げているような支援が行えるように、ホーム内は開放的な雰囲気であり、ホーム内に施錠等は行われていない。また、職員による利用者への対応等について、法人代表者より、注意喚起等も行われている。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 暴言暴力はしないように努めている。一般的に虐待と言われる行為はない。虐待防止に努めている。利用者を傷つける行為はだれもしていない。なし。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|---|---|--|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 勉強していない。新しい利用者が後見制度申請中なので学びたい。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 直接かかわっていないのでわからない。直接かかわってはいないが出来る限りの説明をしていると思う。十分説明を行い、疑問や不安については納得いくよう説明をしている。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 最低でも1回/月は支払で家族は来られるので意見や要望は離せていると思う。色々な連絡等はその都度電話連絡をしている。家族のみの集まりはない。日常の訪問をはじめ、ホームでの行事への参加も得られている。家族の意向や要望にも合わせながら細かな報告も行っている。利用者への声掛けは朝礼ミーティングでも行っている。家族の意見を直接聞く機会がない。家族訪問時は気軽に話が出来るようにしている。 | ホームの行事の際には家族にも案内を行っており、家族との交流の機会をつくっている。利用料の支払いを通じて、家族に定期的にホームに来てもらう機会をつくっており、その際に要望等を確認する取り組みにつなげている。なお、ホーム便りの作成は行われていない。 | 家族には定期的にホームに来てもらうことで、ホームでの様子を報告しているが、時には、写真等を活用したホーム便りの発行にも期待したい。 |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 毎月第4金曜日に会議を開き意見を出し合っている。管理者に提案を反映させている。運営について意見することはない。 | 毎月の会議の際には、責任者でもある法人代表者が会議に参加しないことで、現場職員の中で話し合い、意見等が直接運営に反映できるような取り組みが行われている。開設時より、職員にも徐々に浸透しつつあり、リーダー的な役割を果たす職員もいる。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境条件の整備に努めている。 | 度の職員に対しても十分把握して頂けてると思うがその思いが伝わっていない職員が多い。もっと話し合えるようになりたい。皆か笑顔で働ける職場にしていきたいです。職員で勉強会を開催し、知識を身に着けるように努力している。職員一人一人にあった勤務状況を把握し、各自、向上心を持って就業している。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 研修はその都度必要な職員が受けている。研修を受ける機会を確保していただき、施設内での勉強会も行っている。研修に行かせてもらっています。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 研修を通じて同業者と交流する機会を確保していただき。交流は少ない。同業者の合同運動会に参加している。交流したい。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|----|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 一人一人の利用者に合ったケアを心がけている。なるべく笑顔で接するようにしている。本人とコミュニケーションをとるように努力している。要望は必ず聴き、可能な限り実現するように努めている。日常生活において日頃から相手の信頼関係がきづけるよう取り組んでいる。不安や不満を察知できるように取り組んでいる。常に本人の訴えに添える様努めている。本人が何を求めているかを理解するように努めている。本人に添える様に努めている。困り、不安などあれば話を聴いている。もっとかかわりを深くして安心して言ってくるような職員になりたい。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 施設に来られた時はいろいろな話をして関係づくりに努めている。面会時には管理者や職員と話日頃の様子を伝え、かぞくからの話を傾聴して関係づくりに努めている。直接は聴いてはいないがケース記録などで理解している。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 自分で考えを導入することはすくない。社長から提案され対応していることが多い。入所前の本人や家族の気持ちの摺り寄せ、それぞれの思いをきちんと受け止めたうえで入所。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 社長の「家族」という言葉を頭に入れている。尊敬の気持ちを忘れずに対応。本人に出来る事、好きな事を聴きながら、いろいろ学びつつ楽しく暮らすことを共にしている。人生の先輩としていろいろ教えてもらいたいと思いつつ接したり、本人の能力に応じて出来る事は任せる。十分に注意しながら見守り、声掛けをしたりしている。利用者と日常生活を共にして出来る事を時間をかけながら行い暮らしを共にする者同志の関係を築いている。共に協力して日々の生活を過ごしているが、時に自分が介護しているという自分優位な事をしているように思う。ちょうり・洗濯・掃除等利用者と一緒に行っている。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 面会に来てくれたり、行事に参加して頂き、家族の関係が失われないようにしている。クリスマス会には家族と料理作りをしている。(参加者が少ないが)。絆が着れているような家族もみえる。家族との協力はしているが、利用者によっては家族と会ったことがない人もいるので全てとはいえない。受診や毎月の支払、ホームの行事に来て頂けるよう取り組んでいる。利用者に会いに来られる家族とは本人を含め話をし関係を築くよう努力している。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 手紙は本人の字で返事を書いていただいたり電話が来れば話して頂いたりしている。馴染みの方に会った時にはゆっくり話をしている。職員が定期的に馴染みの人や場所の話題提供をし支援に努めている。訪問も自由である。情報が少ない。こちらからは出かけていない。家族や親戚の面会がある。 | 利用者の中には、入居前からの活動を継続している方もおり、関係継続につながるような取り組みも行われている。地域の喫茶店に出かけていることで、利用者の中には馴染みの場所である方もいる。また、家族との外出等、可能な範囲で交流を継続している方もいる。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者皆で料理を作ったり、レクレーションを行ったり、コミュニケーションを取っている。出来るだけ関わっている、協力する人もいる。利用者同志で助け合ったり、協力し合っていると思う。全体的には良い関係が出来ていると思うが、親しくなりすぎることによって色々な問題も起きている。利用者一人一人が孤立せずテーブルの座席位置等配慮している。よい関係づくりが出来るように取り組んでいる。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|-----|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 契約終了した利用者の経過はしらない。少ない情報しかない。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 利用者の意思に沿って買い物やレクリエーションを行っている。理解するように努めている。希望、意向のすべては把握できていないが、努力している。就寝前の時間にゆっくり話を聴き希望や要望を聴ける状態かつ話せる環境づくりに努めている。ケアプランに沿って対応している。職員は記録を残し情報を共有している。声掛けしながらその都度対応している。記録を把握し、努めている。リーダーと相談しながら対応。私に対してはほとんどの利用者が訴えてくることがない。(もっと信頼関係を築く必要があると思う) | ホーム独自の取り組みとして、利用者に可能な範囲で日記を書いてもらうように働きかけしており、意向等の把握につなげている。日常的な支援については、A3サイズの「週間生活表」にまとめており、職員間の情報の共有や新たな情報を加えていくような取り組みにつなげている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 資料を読み把握。リーダーに聞きながら把握している。ケア出来ていると思う。他職員やケースから情報を集めている。生活歴は把握できる限りし、これまでのリズムに合わせていると思う。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 毎日バイタルチェックを実施。体調変化は記録し申し送っている。出勤時、ケース等確認し、毎日の様子の変化など情報収集している。職員全体で把握に努めている。朝のバイタル測定、表情等の観察を行っている。記録の確認とリーダーへの確認をしている。日課票に記録している | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人の状況を踏まえて会議や通常業務内で職員は情報を共有し、ケアに反映している。計画内容の検討については毎朝のミーティング時間にも話し合っている。家族と話し合うことは私自身はしないが、本人とスタッフと話し合いはしている。。毎月金曜日にケア検討を行っている。 | 介護計画は1年に1回の見直しではあるが、毎月のケア会議を通じたカンファレンスの機会をつくっており、利用者の状態を把握し、変化に合わせた見直しにつなげている。また、職員にも介護計画の内容を見てもらうことで、記録への反映につながるような取り組みも行われている。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々気づいたことは記録し、1日2回申し送りをしている。出勤時記録に目を通して記録が共有出来ている。記録や情報が十分生かしているとはおもえない。情報を共有しながら介護計画、日常生活の見直しが出来ている。会議で話し合いをしている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 家族の状況希望等に添える様対応している。管理者が本人家族の状況を日頃から把握し取り組んでいる。必要に応じて対応できている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 近所への買い物、地域の祭りやイベントへ出かけている。毎日散歩。中学生の体験学習。心身の力を発揮できるよう支援しているが豊かで楽しめている所までは出来ていないと思う。徐々に外出を増やしていきたいと思っている | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 支援できている。定期的受診をしている。本人家族に沿ったかかりつけ医があり、定期的に受信している。家族が受診支援を実施しているが出来ない時には職員が支援している。 | 現状、訪問診療等の対応が行われていないこともあり、ホームからも医療機関への受診支援が行われており、医療面での支援につなげている。また、併設のデイサービスに看護師が勤務しており、薬剤管理等の支援が行われている。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 薬のセットをしている。連絡、相談はいつでもできるようになっている。常に相談し助言を得ている。連携は出来てはいるがもっと伝わる環境にしてほしい。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | ADL低下防止のため、医療行為が終了すれば退院をお願いしている。医療行為が終了後は速やかに退院を遂行、家族や医療サイドにこまめに情報収集や相談をかけるようにしている。管理者が行っている。病院との関係づくりまでは入っていない。病院だけでなく家族とも連絡を取っている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 終末ケアについて希望を伺っている家族とそうでない家族がいる。早い段階からの話し合いは出来ていない。家族本人の希望を聴き書面に残し、職員が把握できるようにされているが全員ではない。入所時に核家族から終末期に関するアンケートは取っている。職員として勉強していきたい。 | ホームでは、利用者のホームでの看取りを見据えた対応についても前向きな考えを持っており、家族からの意向等の確認も行われている。実際に、看護師との連携を深めながら、ホームでの看取り支援が行われているが、合わせて、課題となった点も得られている。 | 実際に看取り支援を行って行く中で、医療面での連携等、ホームでの看取り支援に関しての課題点も得られている。関係する方々との検討を深めながら、ホームでの経験が次回以降のより良い対応につながることを期待したい。 |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 自分も含め多数の職員が未熟なため積極的に勉強をしていきたい。全ての急変や事故に対して知識や自信はないが手順は把握している。定期的な訓練をする機会はない。マニュアルはあるがよくわからない。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 11月に防災訓練を実施。地域との協力体制はまだできていない。避難訓練や緊急連絡網は作成されている。利用者の方が安全に手早く避難できる方法を再確認する必要がある。 | 避難訓練の際には、通報装置が建物1階のデイサービスのスペースに設置されていることで、デイサービス職員との連携も行われている。ホーム内に水や食料等の備蓄品の確保も行われている。なお、地域の方との連携については、継続したテーマでもある。 | デイサービスの職員がいない、夜間を想定した訓練を実施することで、夜間の通報方法の確認の取り組みに期待したい。また、地域の方とは、今年度よりサロンを通じた交流が始められたこともある為、継続した関係づくりに期待したい。 |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 心がけてはいるが時々感情が出てしまうことがある笑顔を忘れず対応できるよう心がける。人格を尊重するようにしているがプライバシーを等損ねてしまう言葉をかけてしまうこともあると思う。相手の立場に立って対応するよう努力が必要。相手の顔色をうかがいながら会話するよう心がけている。女性ばかりのため着替えに配慮をかいたり脱衣所の扉があいたままの時がある。努力している・目線を合わせて会話をしている。敬語を使うように心掛けているがたまにため口がでてしまう。 | 1ユニット9人のホームでもある為、利用者への声かけ等については、利用者の自尊心に配慮した対応を行うように法人代表者からの注意喚起の機会もつくられている。また、職員による言葉遣いについては、職員により難しい面があり、職員とも考えてもらうような話し合いも行われている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 利用者の何かやりたいことの希望が出た場合は可能な限り実現している。長くおられる利用者は比較的希望を表現されるがまだ日の浅い利用者からの希望・思いを引き出せていないので今後努力したい。本人の意見や意思を優先して自己決定できるよう働きかけている。心がけてはいるがまだ十分に実践できてはいないと思う、押し付けるようになってしまうこともあり。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 本人ペースに合わせてはいるが中々できない努力している。時に職員ペースになってしまいがちだが支援できるように努力している。出来る限り本人のペースを大切にしている。利用者の希望があまりない。一人一人のペースがあるので危険が無いように見守りをしている。なるべく本人のペースに合わせてはいるが朝遅くまで寝ている時は適当な時間におこしてしまう。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 利用者と買物に出かけ衣服購入する時有。散髪へも出かける。毎日清潔保持(衣服は毎日交換)なるべく自分で選んでもらう。季節に合った衣服が選べない方にはこちらで選択する。出来ていると思う。清潔な衣類管理、身だしなみを心がけている。施設長が女性であることも大きいと思う、出来ている。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 皆と一緒に考えながら作っている。出来ている。食事作り、盛り付け、片付け等一緒にしている。体型や病気に合わせた盛り付け、嚥下能力に合わせた食事形態の提供をしている(トロミ、きざみ)能力に合わせた食事作りをしている。季節行事食の取り入れをしている。お好み焼きや餃子づくり等もしている。利用者と会話をしながら調理している。食材調達の買い物へ行ったり、畑に行ったりしている。 | 毎日の調理の際には、利用者も調理メンバーとして参加してもらい取り組みが行われており、利用者により、材料を切ったり、料理を盛り付けたりする作業が行われている。また、食事の際には、利用者の身体状態に合わせた食事形態の配慮や、職員も一緒に食事をを行い会話を楽しむような取り組みも行われている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 朝のリトミックやおやつの時、水分確保に努めている。毎食ごとに汁物一品はつけている。食事制限者には盛り付けの工夫をしている。毎日水分摂取量の記録を取っている。品数を多くしてまんべんなく栄養が取れるようにしている。水分1日1000ccを目標。毎月の体重測定。医師の指示やあどばいすをもとに支援。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 出来ている。入れ歯使用者の歯茎磨きも声掛けにて実施。食後3回実施。時に口腔観察もしている。夜間は入れ歯を預かり勝北座位にて保管。必要時は歯科受診支援(家族か職員) | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | こまめな声掛けを実施。排泄動作の能力別に支援を実施を心がけている。個々に合わせ対応している。話し合いをこまめにし、それぞれの排泄パターンを把握しケアにつなげている。失敗を減らすようそれぞれのパターン、尿量、使用回数に合わせた時間での声掛け介入をしている。排泄パターンをつかみ、紙おむつの使用料の減少への工夫をしている。一人一人の排泄状態の記録をしており現状全員がトイレでの排泄対応、変化あれば看護師等の指示を仰ぎ適切な支援をしている。夜間も声掛けにてトイレ誘導をしている。 | 独自の様式でもある「週間生活表」の中に排泄状態をチェックすることで、利用者毎に排泄状態を把握し、その方に合わせた適切な排泄につながるような支援が行われている。また、日常的に運動の時間を設けることで、排泄面の改善につながるような取り組みも行われている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 薬で対応している人もいるが運動や水分を十分摂るようにしている。またヨーグルトなどの提供も個別でしている。下剤調整者もいるが腹部マッサージしたり、水分を多めに取って頂くように声掛けをしている。1日おきにヨーグルトとヤクルトの提供かつ毎日散歩。医師、看護師に相談し食べ物での工夫、水分摂取量の目標値を決めてやれている。運動は不十分だと思う。野菜を多く摂取。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 出来るだけ利用者の希望に沿った時間に入浴している。拒否ある時は声掛けの工夫をしている。前日入浴していない方から声掛けをしている。希望は取り入れているがスキントラブルや職員の人数などによりこちらの都合で行うこともある。見守り入浴者は本人の希望時間を考慮している。入浴者数や入浴時間は日により異なる。汚染のあった時や特定の介助入浴者は希望に合わないことあり。入浴の嫌いな利用者が多いので希望どおりは難しいこともある。 | ホームでは、毎日の入浴の準備が行われていることで、利用者の中には毎日のように入浴している方もいる。時間についても、利用者により、寝る前に入浴している方もいる。また、利用者により職員2名で対応したり、季節に合わせた柚子湯や菖蒲湯の楽しみも行われている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 昼夜逆転対策としてレクや体操等取り入れている。本人の体調や前日等の様子を見て日中の休息をしている。夜間の睡眠に影響しないよう休息は取っている。居室の明かりと温度調節をしている。天気の良い日は日光に布団を干し、気持ちよく眠れるようにしている。居室の温度調節を行い、着床時間も本人に合わせている。週に1回シーツ交換を実施。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 服薬の提供前に必ず名前と日付の確認をしている。薬の目的や副作用等理解していない職員もいる。個人的にはおおまかな内服薬の把握はしている。社長、看護師、家族からの変化の報告あれば細かくケースに残し、皆が理解できるように努めている。勉強不足です。看護師にまかせっきりしないで勉強していきたい。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 季節の行事を取り入れている。季節の食材を多く取り入れている年に1回日帰り旅行を実施。週に1回の喫茶店に行くのを楽しみにしている。食事作りは得意なことをしていただいている。好みを活かしたレクの取り組み。まだ十分にできていない。支援している。支援していきたい。朝食づくりの当番、食事のあいさつ当番など実施。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 毎日散歩をしている。家族支援の外食も時にある。サークル参加をしている方が1名(入所前からずっと継続)。歩行が難しい方の支援を図りたい。本人の希望の場に連れて行くことが出来ていない(諸事情有)外出の機会を増やすよう取り組んでいる。季節により弁当を持って出かけている。排泄や歩行状況の関係でいつでもどこへもとは行かない人が増えた。 | ホームでは日常的に外に出る機会をつかっており、ゴミ捨てや散歩等が行われている他にも、週1回の喫茶外出の取り組みも行われている。また、季節に合わせた外出行事の取り組みも行われており、外出行事の中には、市外への日帰り旅行の取り組みも行われている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 支援している。出来ている。お金の管理は難しいが小額なお金は本人が持っているが不足した生活用品の購入は本人が購入してくる。利用者の能力に応じてお金を所持している。職員付き添いで買い物をしていく。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 希望があれば手紙や電話することが出来る支援している。ほとんど希望がない。手紙のやり取りへの支援もしている。利用者本人が電話をしたり、手紙を書いている。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 工夫できている。利用者と一緒に掃除。花も利用者に行けて頂く。毎日午前中掃除を日課にしている。空気清浄器を3台廊下に設置し、嫌な臭いは序に努めている。温度管理や植物が置いてあり気持ち良い空間の提供が出来ている。もっと工夫が必要だと思う。窓が広くて明るい。加湿器を設置してあり可動式棚の設置により空間の景色変更が出来ると | リビングは建物の2階にあり、窓が多く設置されてあることで、採光に優れており、利用者は日中を明るい雰囲気でも過ごすことができる。また、ホームの庭には畑がある他にも、リビング内にも様々な花が育てられてあることで、利用者の気持ちが穏やかになるような配慮が行われている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 利用者に合った席作りを常に検討している。ダイニングの長いすで利用者同志コミュニケーションがとれるようになっている。あまり工夫はされていないし、馴染みの物はない。思い思いに過ごせてないと思う。独りになれる場所は居室。工夫は出来ていないが自然のままに好きな場所に座り、好きな人と自由に話したりする空間はある。廊下に畳椅子があり、一人坐している方も時に見える | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 家族と相談でベットの布団の人好みで過ごしている。慣れた生活で過ごしていると思う。居室は殺風景な人が多いが家族にはなじみの物など持ってきてくださいと伝えてはいるが――家族への理解を促し安心できる馴染みの環境に近づけるよう努力したい。 | 居室により、洋室と和室と分けられていることで、複数の利用者が畳の部屋に布団を敷いて生活しており、入居前からの生活スタイルを継続している方もいる。また、利用者により、趣味の物の持ち込みや馴染みの家具類の持ち込みが行われている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 階段の色付けの工夫がある。居室は色分けがしてある。自由に動ける配慮がなされている。洗濯物を干したり料理をしたり、掃除やシーツ交換をしたり出来る事への支援をしている。建物の中は自由に動いてもらえるよう目が行き届く設計になっている。テーブル等は安定しグラつかない、角がない建具使用。安全な閑居作りの設計がなされている。 | | |